

R7 年度 学校評価アンケート 児童 まとめ

	とても そうおもう	だいたいそうおもう	ぜんぜんそう思わない
わたしは、学校がたのしい。	64.7%	29.6%	5.6%
わたしは、友達と仲良くしている。	70.5%	28.1%	1.4%
毎日の勉強が分かる。	52.5%	43.5%	4%
自分で考えたり、色々なことをしたりする力がついてきている。	52.5%	42.6%	4.9%
先生は、自分のことをよく見て、褒めたり注意したりしてくれる。	53.2%	42.1%	4.7%
先生は熱心に勉強を教えてくれる。	69.5%	26.3%	4.2%
困ったことがあるとき、先生達や主事さんたちが話を聞いてくれたり、助けたりする。	52.5%	40.4%	7.2%
私は、お家の人に、学校のことをよく話す。	50.9%	35.8%	13.3%
お家の方は、私に学校のことをよく聞いてくれる。	61.6%	29.1%	9.3%
お家の方は、私が楽しくすごせるようにいろいろなことをしてくれる。	75.8%	21.6%	2.6%
「国際」の授業が楽しい	58.1%	31.2%	10.7%
英語で色々な人と話したい	50.5%	37.4%	12.1%
iPad を使う授業が好き	68.6%	27%	4.4%
きまりをまもって iPad を使っている。	74.4%	24.7%	0.9%

【考察】

どの項目も「とてもそう思う」「だいたいそう思う」の意見が9割近くあり、学校や家庭に対して肯定的にとらえる児童が多い。

「8 私は学校のことをよく話す」に関して「全然そう思わない」が13.3%と比較的高い。家庭と協働的に行う活動を取り入れたり、学校ホームページや学級だより等で学校生活の様子を伝えたりすることで、学校に対する対話を増やしていけるとよい。

また、「11 国際の授業が楽しい」「12 英語で色々な人と話したい」も「全然そう思わない」が1割を超え、否定的な意見がやや高い。国際科の学習内容の見直しやNTとの連携、大使館交流や体験活動等の国際理解教育を充実させ、外国語を学び、活用していくことの有用性や意義を児童に感じさせたい。